

2018年9月27日仙台大会

公開シンポジウム
公認心理師の養成はいかにあるべきか：
公認心理師養成大学教員連絡協議会の報告をもとに

話題提供
国家試験ワーキンググループから

丹野義彦
東京大学総合文化研究科

<内容>

- 1. 国家試験で明らかになったこと**
- 2. 事例問題の根拠を問う**
- 3. 世代間摩擦でなく
世代間伝達の仕組みを**

2018年9月9日 国家試験(出題割合)

さらに減って20%

分野	問題数	%	ブループリント
基礎心理学	31	20%	25%
公認心理師	6	4%	9%
アセスメント	12	8%	8%
心理的支援	12	8%	6%
医療	35	23%	20%
福祉	12	8%	9%
教育	24	17%	9%
司法	6	4%	5%
産業	16	11%	5%
計	154	100.0%	100.0%

ブループリントの改善要望

1. 基礎心理学の割合を上げてほしい
国際的な標準に基づき
日本学術会議『心理学参照基準』に基づき
2. 作成方法の透明化を
出題委員の個人的な見解で作成されている
専門学会の意見を取り入れてほしい
3. キーワードの選び方が科目によってバラバラ
大項目、中項目、小項目の基準を明確に
4. 「心理学研究法」と「心理統計学」は独立科目
ブループリントでは合体しているのはおかしい

国家試験で明らかになったこと

「臨床心理士」と「公認心理師」は全く違う資格

臨床心理士  **公認心理師**

**臨床心理学
(心理療法系)**

- ①基礎心理学
- ②臨床心理学(心理療法系)
- ③エビデンス重視の認知行動療法系
- ④医療分野(医学)
- ⑤福祉分野
- ⑥教育分野
- ⑦司法分野
- ⑧産業分野

8領域の多角的視点

公認心理師の養成の方向 その1

臨床心理士と公認心理師は違う職種という自覚が必要

これを自覚して、新しい養成体制を作らないと生き残れない。

8分野のひとつでも手抜きをすれば、受験生の合格率が下がる。

基礎心理学は科学的な考え方を重視

基礎心理学の問題は、心理現象の科学的理解や解釈を問う出題だった。学説名や知識の暗記では歯が立たない。

科学的な考え方を養わないと養成校は生き残れない

科学者－実践家モデル

公認心理師の養成の方向 その2

臨床心理学はエビデンス重視が明らかになった

精神分析療法の問題は出題されなかった。

認知行動療法が2問出題された。認知行動療法系の技法は、5分野のどこでも必要だという認識が広がった。

心理アセスメントの問題が多かった。

投映法では、PFスタディやバウムテストは出たが、ロールシャッハ・テストの問題はなかった。投映法も、これからはエビデンスのあるものにシフトしていこう。

公認心理師の養成の方向 その3

現場実習の重要性

5分野の実務知識が多く、難度も高かった。
大学院では、現場実習をまじめに取り組む必要。
学内相談施設の実習だけでは歯が立たない。
新しい現場実習マニュアルの必要性



医療分野の実践はとくに重要

医療分野の出題が多かった(出題委員の28%は医師)
診療報酬化や専門資格制度の創設に向けて
医師団体との連携が必要

<内容>

1. 国家試験で明らかになったこと
- 2. 事例問題の根拠を問う**
3. 世代間摩擦でなく
世代間伝達の仕組みを

事例問題

臨床心理士試験の時代から「**臨床的センスを問う**」ものとして多く出題。

公認心理師でも、はじめは50パーセント出せという意見。
実際の国試では**28パーセント**に留まった。

事例問題の問題点

- ①正解の根拠がどこにあるのか不明
- ②国語力で解ける（「臨床センスを問う」は幻想）

2つのパタンを覚えればシロウトでも解ける

1. 共感検出ゲーム

2. 悪玉検出ゲーム

共感検出ゲーム ポーターの治療者態度尺度

29歳の女性のクライアント。

「私はひとりでいるのが怖いんです。とても怖いんです。自殺したくなるんじゃないかと思ったくらいです。自殺したくはないんですけど。でも、とてもゆううつなんです。外へ出ようと思っても、自動車の前に駆け出しはしないかと思って、外へ出るのも怖くなるのです。家にいるのも怖い。自分自身が怖い。医者に行って診察を受けるのも怖いのです。ガンだと診断されはしないかと思って。私の母も祖母も叔母も、ガンでした。ああ、何とかならないもんでしょうか？」

答1. あなたの恐怖心は別として、本当にガンではないか、と思わせる何かの徴候がありましたか？

答2. そんな恐怖心におそわれたら、いつでも私に電話をかけ、私と話をしましょう。相談室へでも、私の家にでも。話をすれば平静な気持ちになれますからね。

答3. ガンかもしれないと考える理由が何かあるなら、あなたは、自分の恐怖心を克服して、医師の診断を受けるように努力しなければなりませんね。

答4. この恐怖心をもう少し追求してみれば、あなたが考えているほど、現実的なものではないことがわかれると思います。あなたは、何かを抑圧し、罪悪感を感じていて、そのために自分自身に罰を加えているんだと、私は思うんです。

答5. こんな恐怖のために、ひとりでいることができなくなるんですね。

共感検出ゲーム

ポーターの治療者態度尺度

1. **診断的態度**:相手の問題について、もっと知り話し合おうとする
2. **支持的態度**:相手に保証を与え、安心感を与えようとする
3. **評価的態度**:相手の話の正しさや適切さについて判断しようとする
4. **解釈的態度**:相手の心理や症状の意味を教えようとする
5. **共感的態度**:相手の話の内容や感情、考え方や物の見方を、正しく理解していることを共感的に示そうとする

もともとは治療者の多様な態度の訓練のため。
しかし、臨床心理士試験の事例問題では、なぜか共感のみが正解とされた。他の態度は不正解。
実証的根拠は不明。

共感検出ゲーム

非共感ワード この語が出てきたら×

1. 診断的態度

「診断をつける」「病名をつける」は×

2. 支持的態度

「励ます」「心配する必要はない」と保証を与える、などは×

3. 評価的態度

何かを決めつけるような行動は×

実際の臨床では、場面によっては、不正解とは言えないはず

4. 解釈的態度

「説得する」「指導する」「何かをするのをとめる」は×

共感ワード この語が出てきたら○

5. 共感的態度

「受容的に」「許容的雰囲気」「ねぎらう」「話をきく」「話合う」は○

臨床心理士試験では、ほとんど共感的態度のみが正解
なぜ共感的態度のみが正しいかのエビデンスは明確でない
共感を絶対視するイデオロギー？ 民間資格なら許される

公認心理師試験でも**共感検出ゲーム**は生き残るのか？

公認心理師試験における「共感」の選択肢

- ・加害者を苦しめ続けたいというAの**気持ちを否定しない**。
- ・Aから授業の状況や身体症状について**詳しく聴く**。
- ・Aの苦労をねぎらった上で、Bの現在の**様子を詳しく聴く**。
- ・外に出るのを恐れているにもかかわらず、教育相談室に來られたことを**肯定してねぎらう**。
- ・「絶対自分でやめる」と主張する場合は、**Aの意思を尊重して様子を見る**

正解発表はまだだが、共感検出ゲームは生きているのか？
国家試験としての正解の根拠を明確にするように要望していく

「事例問題は臨床センスを計れる」というのは幻想
(そもそも複雑な心理的対応を多肢選択で計れるはずがない)

事例問題は国語力で解ける その2

2 「悪玉」検出ゲーム

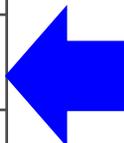
悪玉ワードが出ていたら×

ワースト3は、
「医師の診察を勧める」
「心理検査をする」
「診断をつける」

悪玉検出ゲーム(1)

「医療機関」「医師」は悪玉
このワードが出たら、
×と答えれば、72%は正解。

	22問中
×	16問(72%)
○	6問(27%)



「医師は悪者」という偏った態度。

公認心理師では、このような偏狭的な態度は許されないはず。
「医師の指示」が法律にあるし、
出題委員に医師も多いので、改善されていることを望みたい

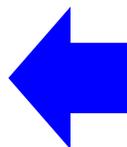
臨床心理士試験 事例問題

年	問	肢	ワード(医療ワード)	正誤
平成23	58	C	小児科への受診	×
	96	C	医師	×
平成25	72	A	医療機関	×
		B	医療チーム	×
	74	A	NICU	×
	94	e	医師への診察	○
平成26	62	B	精神科への受診	×
		D	緩和ケア	×
	63	B	病名	×
		C	医師や看護師	×
		D	医師	○
	72	C	医療機関への受診	×
	83	D	医療機関への受診	○
平成27	66	e	医療機関にリファーする	×
	79	C	健診担当者	×
	80	A	児童精神科受診	×
	91	B	かかりつけ医	○
		C	早期受診	×
	93	C	医療機関の受診	×
	97	D	医療機関の受診	○
	98	B	抗がん剤治療	×
		C	主治医の依頼	○

悪玉検出ゲーム(2)

「心理検査」は悪玉
このワードが出たら、
×と答えれば、75%は正解。

	8問中
×	6問(75%)
○	2問(25%)



「心理検査は悪玉」という
偏った態度。

公認心理師では、出題委員に医師も多いので、改善されていることを望みたい

臨床心理士試験 事例問題

年	問	肢	正誤	内容
平成23	95	A	×	心理検査
		C	×	心理検査
		D	○	「心理検査は拒否できる」
平成24	48	C	×	ITPA
	100	B	×	心理検査
平成27	66	C	×	心理検査
平成27	94	B	×	心理検査
平成28	98	C	○	知能検査の実施

公認心理師試験でも**悪玉検出ゲーム**は生き残るのか？

今回の公認心理師試験における**悪玉ワード**

○医療機関

- ・ **医療機関への受診を勧める。**
- ・ 現在Aは抑うつ状態であるため、まず**精神科への受診を勧める。**
- ・ **治療しなければ降格**や**失職の可能性も考えなければならない**ことをAに伝える。
- ・ 眠りが浅いため、**医師に薬の処方**を依頼する。
- ・ 引き続き**小児科外来での診療**を勧める。

○心理検査

- ・ 保護者からの合意を得た上で適切な**心理検査を実施**する。

正解は未発表だが、**悪玉検出ゲーム**は**生きているのか？**

「**医療機関**」と「**心理検査**」が**悪玉**である根拠は何か？

今後、**国家試験**としての**正解の根拠**を**明確にするよう要望**

不適切問題

2018年厚生労働省ホームページ

第107回看護師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題

午前問題	第 2問	 PDF [131KB]
午前問題	第 9問	 PDF [164KB]
午前問題	第 11問	 PDF [124KB]
午前問題	第 83問	 PDF [145KB]
午後問題	第 4問	 PDF [97KB]
午後問題	第 5問	 PDF [100KB]
午後問題	第 12問	 PDF [91KB]
午後問題	第 22問	 PDF [141KB]
午後問題	第 24問	 PDF [69KB]
午後問題	第 114問	 PDF [431KB]

第106回看護師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

午後 第31問

31 施行日が最も新しい法律はどれか。

1. 高齢社会対策基本法
2. 高齢者の医療の確保に関する法律
3. 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律
4. 地域における医療及び介護の総合的な確保を促進するための関係法律の整備等に関する法律

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理 由

設問に不適切があるため。

選択肢に誤りがあり正解が得られないため。

**不適切問題と発覚することは、受験者は喜ぶ
しかし、国家試験としては恥ずべきこと**

⇒事例問題はその根拠を慎重に検討すべき

<内容>

1. 国家試験で明らかになったこと
2. 事例問題の根拠を問う
3. **世代間摩擦でなく
世代間伝達の仕組みを**

「世代間まさつ」をおこさないために

2018年 平成30	2019年 平成31	2020年 平成32	2021年 平成33	2022年 平成34	2023年 平成35	2023年 平成35	2024年 平成36
現任者のみ	現任者+大学院経過措置	現任者+大学院経過措置	現任者+大学院経過措置	現任者+大学院経過措置	大学院経過措置	第1期生受験	第2期生受験

経過措置ルート

Dコース(大学免除)
Eコース(大学半分)
Gコース(大学・大学院免除)

ポストを独占

世代間まさつ



正規ルート

Aコース
大学25科目
大学院10科目(実習450時間)

公認心理師になっても就職先がない
公認心理師になるのはやめよう

経過措置ルートのハードルを下げすぎるのは望ましくない

現任者は新しい公認心理師の実習指導をぜひお願いしたい

世代間伝達の仕組みを作る

新たに誕生する公認心理師が入会する

「公認心理師の会」を設立します

公認心理師養成大学教員連絡協議会の理念のもとで養成された
科学者－実践家モデルに基づく公認心理師が所属する団体

科学者－実践家モデルに基づく公認心理師の養成
教育カリキュラム・現場実習マニュアルの整備

公認心理師養成大学教員
連絡協議会

公認心理師の会

科学者－実践家モデルに基づく現場実習の提供
現場に求められる公認心理師の在り方についての情報提供
公認心理師主導の臨床研究の推進

11月30日いよいよ合格発表

合格したら **公認心理師の会**に入ろう

公認心理師の**スキルアップ**と**キャリアアップ**をめざす団体。

これまでの民間資格時代の考え方にとらわれず、**科学者－実践家モデル**の理念を大切に**する未来志向の公認心理師**をめざします。

活動

- a) **科学者－実践家モデルにもとづく研修会・事例検討会**
- b) **実習指導者の育成**
- c) **診療報酬化に向けた活動**
- d) **公認心理師のネットワークのプラットフォーム**
- e) **出版・広報**
- f) **「専門公認心理師」の資格認定**